2026 版　参加チームへの注意事項　（少年）

大会要項及び本注意事項に記載されてある事項は、チーム全員に徹底すること。記載のない事項は、2026競技者必携のとおりとする。

◆競技運営に関する注意事項◆　（競技者必携 P42～45）

1．ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。ただし、1チームが2試合続けて行う場合はベンチの入れ替えは行わない。

2．ベンチに入れる人員は、競技者必携（P42）のとおりとする。熱中症対策として保護者2名までベンチに入ることができるが、その保護者は、作戦指示等を行うことはできない。

3．打順表の提出は、その日の第1試合は開始予定時刻の30分前までに、第2試合以降は、前の試合の4回終了時に監督と主将が大会本部に6部提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。

※　打順表には登録された選手全員を記入すること。

※　大会指定の打順表用紙を試合前に配布する。

4．シートノックは、原則として行わない。

5．試合開始前の時間が許す範囲内において、サイドノック及び外野サブノックの実施を認める。その場合、ノッカーにボールを渡す選手や野手からの送球をノッカー付近で捕球する選手及び外野手からの送球を補助する選手（中継者）は、ヘルメットを着用すること。

6．球場内ではトスバッティングのみ認める。

7．次の試合の先発バッテリーは、攻守決定後、競技場内のブルペンを使用することができる。

8．ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。

9．第2試合以降は、試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分を目安に次の試合を開始する。

10．試合開始予定時刻になっても会場に到着しないチームは、原則として棄権とみなす。

11．雨天でも試合を行うことがあるので、必ず大会本部の指示を受けること。

12．次のイニングに引き続き投げる投手のコーチスボックス外野角からポール方向のファウルテリトリーでの軽いキャッチボールを認める。また、ブルペンでのキャッチボールは2組4名以内を認める。ただし、競技場の条件（広さ）によっては認めないこともある。

13．試合の挨拶は、試合前後の本塁整列の挨拶が全てである。チームの大会本部及び相手ベンチへの挨拶は不要である。

◆競技に関する連盟特別規則◆　（競技者必携 P51～54）

1．試合は7回戦であるが、暗黒、降雨などで7回までイニングが進まなくとも、5回を終了すれば試合は成立する。

2．試合開始後 2 時間 30 分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。

※　2 時間30分以内であっても、状況により試合を打ち切る場合がある。その場合は、その回の開始前に球審から両チームの監督にその旨を伝えることとする。

3．　投球数制限をチームの責任において遵守すること。（競技者必携P.53～54）

4．抗議権を有する者は、監督か当該プレーヤーのいずれか1名とする。

◆試合中の禁止事項◆　（競技者必携 P57～59）

1．　選手や審判員に対する全てのヤジを禁止する。また、スタンドからの応援団のヤジ及び目に

余る行為はチームの責任とする。(競技者必携 P11【ヤジ撲滅運動展開中】)
2. 危険防止のため、足を高く上げてのスライディング等を禁止する。
3. 作為的な空タッグを禁止する。
4. プレイを利用して相手選手を欺く行為(アンフェアプレイ)を禁止する。(例:競技者必携P.58)
5. 試合が開始されたら、控え選手は、むやみにベンチから出てはならない。投手の準備投球にあわせて素振りをすることを禁止する。(認められる事項:競技者必携P59(1)～(3))
6. 次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。
7. 塁上の走者、あるいはコーチスボックスやベンチから守備側(捕手)のサインを盗み、それを打者に伝達することを禁止する。
また、打者が投げ終わった球種を次打者他に知らせる行為を禁止する。

◆試合のスピード化に関する事項◆ (競技者必携 P59～62)

1. 試合のスピード化・マナーに関する確認事項(競技者必携 P15～16)を遵守し、試合のスピードアップを全員が励行すること。
2. 守備側タイムの際に監督またはコーチ等が投手のもとに行く場合、投手(内野手含む)に飲料水やタオル等を持参することができる。
3. 攻守交代時最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ること。
4. 投手の 12 秒及び 20 秒ルールを遵守すること。(競技者必携 P9～10)
5. 打者のバッターボックスルールを遵守すること。(アマチュア内規②競技者必携 P88)
6. 投手は、ロジンバッグを指先だけで使用し、丁寧に取り扱うこと。
7. 四死球の打者走者が保護具をはずすときには、本塁周辺で外し1塁へ向かうこと。(ただしインプレイ状態の場合は、プレイを優先させて構わない。)
8. 内野手のボール回しは定位置で 1 回りとし、投手に返球するときは定位置から返球すること。

◆競技者のマナーに関する事項◆ (競技者必携 P63)

1. 捕手が投球を受けた時に意図的にボールをストライクに見せようとミットを動かす行為を禁止する。
2. 投手が投手板に触れて投球位置についたら、大きな声を発することなくプレイを見守ること。
3. ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を萎縮させるような言動を禁止する。
4. マナーを守った節度のある応援については、チームの代表者(監督)の責任において統制をお願いする。(競技者必携 P12【マナーを守った節度のある応援について】)

◆用具・装具に関する事項◆ (競技者必携 P64～66)

1. 試合に出場する監督・コーチ・選手のユニフォーム、帽子は全員同色、同形、同意匠のものでなければならない。アンダーシャツ、ストッキングは全員同色のものでなければならない。
2. ユニフォームの上着はズボンに入れること。
3. 試合に出場する捕手及びブルペン捕手は、安全のためプロテクター、レガース、マスク(スロートガード付)、捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用すること。
なお、準備投球及びブルペンで投球練習を捕球する選手は、捕手に求められる用具をすべて着用していない限り、立って捕球すること(出場中の内野手可)。
4. 捕手用マスクは SG 基準合格品を着用すること。

◆その他◆

1. 試合中のグラウンド内のファウルボールは、チームで回収してボールパーソンに渡すこと。
2. 試合が終了したチームは、次の試合のグラウンド整備に協力すること。